

平成 28 年 2 月 5 日

統合医科学研究所に臨床検体を提供されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

統合医科学研究所では、以下の患者さん由来 iPS 細胞を用いた研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された患者さん由来 iPS 細胞を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児神経疾患患者から樹立した iPS 細胞の分化誘導による病態解析研究

[研究機関] 東京女子医科大学統合医科学研究所

[研究責任者] 三谷昌平

[研究の目的]

発症メカニズムがよくわかっていない小児神経疾患の病態を解明し、将来の治療法開発に繋げるために患者さんの細胞から樹立した疾患 iPS 細胞を用いて研究を行う

[研究の方法]

●対象となる患者さん

小児神経疾患の患者さんで、平成 21 年 12 月 15 日から平成 28 年 2 月 28 日の間に iPS 細胞の研究用に皮膚線維芽細胞の提供に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：皮膚線維芽細胞から樹立した iPS 細胞血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学統合医科学研究所 担当者 山本俊至

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7667

平成 27 年 12 月 25 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 膵嚢胞性疾患および膵腫瘍の診断と治療効果判定における血液検査、画像検査、病理学的検査の有用性についての後ろ向きの検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器内科

[研究責任者] 徳重 克年、消化器内科、講座主任

[研究の目的]

膵嚢胞性疾患と膵腫瘍の血清学的検査、腫瘍マーカー、画像診断、内視鏡診断、病理診断の診断能の評価と、内科的治療と外科的治療の有用性と予後について検討するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膵嚢胞性疾患あるいは膵腫瘍の患者さんで、1990 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 25 日の間に入院あるいは外来で膵臓関連の検査との治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病歴、身体所見、検査結果（血液生化学検査、腫瘍マーカー、免疫学的検査、腹部超音波検査、CT、MRI、PET、ERCP、ERCP 下膵液細胞診・擦過細胞診、EUS、EUS-FNA、治療内容、手術術式、外科切除の病理結果）、診療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご理解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科

担当医師 清水京子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7435

平成 28 年 2 月 22 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 白血病、骨髄異形成症候群におけるRIZ1遺伝子、RUNX3遺伝子、p73遺伝子のプロモーターのメチル化と変異解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院

〔研究責任者〕 血液内科 教授 田中 淳司

〔研究の目的〕

白血病、骨髄異形成症候群の進展、増悪に関係する異常を解明するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

白血病、骨髄異形成症候群の患者さんで、平成 12 年 7 月 4 日から平成 28 年 2 月 22 日の間に遺伝子、蛋白の研究用の検体の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、骨髄（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：

- 1 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、治療効果、状態
- 2 血液検査結果：血算、肝機能、腎機能、CRP、ビタミンB12、NAP スコア
- 3 CT、腹部エコー、骨髄像、染色体、キメラ遺伝子定量

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 森 直樹

電話 03-3353-8111 (39961) FAX 03-5269-7329

情報公開文書

平成 25 年 3 月 4 日

病理解剖にご同意を頂いたご遺族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

剖検脳脊髄を用いた酸化ストレスによる神経細胞機能の障害と細胞死に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学、同志社大学、新潟大学

[研究責任者] 柴田亮行（東京女子医科大学病理学第一講座主任教授）

[研究の目的] 病理解剖で採取保管された脳脊髄の組織標本を解析し、神経変性疾患における神経細胞の障害と細胞死の仕組みを明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学ならびに新潟大学脳研究所に保管されている剖検脳脊髄を提供した患者さんのうち、1973 年 1 月から 2012 年 12 月までの間に病理解剖された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：脳脊髄の凍結切片およびホルマリン固定パラフィン切片

（切片は染色された後、東京女子医科大学病理学第一講座で保管されます）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、血液・画像検査の結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡下さい。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病理学第一講座 担当医師 柴田亮行

電話：03-3353-8111 (内線 22231)；FAX：03-5269-7408

平成 28 年 3 月 15 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心疾患特異的iPS細胞樹立とその疾患特異的機能の評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院 循環器小児科

[実施責任者] 東京女子医科大学 循環器小児科 准教授 朴 仁三

[研究の目的]

本研究の目的は先天性心疾患における、遺伝子変異をもつ患者由来の疾患特異的iPS細胞を作成し、そのiPS細胞由来の心筋細胞を作製し、これらを用いた機能不全などの検討、評価を行い、遺伝子変異と臨床像の関係を解明することを目的とします。

[研究の方法]

(1) 対象となる患者様

東京女子医科大学循環器小児科において先天性心疾患における疾患原因遺伝子検索を受けた方

(2) 利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用として保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、家族歴の有無、検査結果（心臓カテーテル検査）、重症度（NYHA分類）

(3) 研究終了後の試料取扱

作製したiPS細胞については、現時点で原因解明が進んでいない病気でも、将来原因が解明された場合に分析できるよう代表研究者施設で凍結保存します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

研究実施責任者 循環器小児科 准教授 朴 仁三

住所：〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院循環器小児科

電話：03-3353-8111 内線23110

東京女子医科大学病院に入院または通院中の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査後に残った検体(残余検体)を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 FDP, D ダイマー試薬の全自動血液凝固測定装置への適用の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

【研究の目的】

FDP, D ダイマーは、血管内で血液が固まってできた塊や塊の元を溶かしたものを測る重要な検査です。FDP, D ダイマーを測定することによって血液の塊ができたことや塊や塊の元が溶かされる働きの関係が把握できます。

新しい FDP 検査薬はこれらの関係を今よりも正確に把握できる可能性があります。

新しい FDP 検査薬と D ダイマー検査薬について検査部で使用している測定装置で使えるかどうか、測定結果が患者様にとって良いのかどうか、について調べます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

血液検査の依頼があった患者さんで、平成 25 年 11 月〇日から平成 29 年 12 月 31 日の間に FDP, D ダイマーの測定依頼があった患者さんの残余検体がある方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（検査後に残った血液）

カルテ情報：診断名、血液検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*本研究には、測定依頼があった FDP, D ダイマー測定後、どなたの検体か判らないようにした残余検体を使用しますので、検体・カルテ情報の利用を了解しない旨のお申し出を受けることができませんので、ご了承ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8112 (38215) FAX 03-5269-7469

平成 28 年 2 月 10 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 多脾症と無脾症における胸腹部内臓錯位パターンの比較検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

【研究責任者】 坂井 修二 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科 主任教授

【研究の目的】

多脾症、無脾症における内臓錯位パターンを比較検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院循環器小児科に通院・入院した多脾症、無脾症の患者さんで、平成 16 年 5 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に CT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（画像検査所見）、治療内容

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

担当医師 米山 寛子

電話 03-3353-8111（内線 39966） FAX 03-5269-9247

平成 28 年 2 月 1 日

画像診断・核医学科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 腎部分切除術後の仮性動脈瘤に対する予防的塞栓術の効果についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

〔研究責任者〕 坂井 修二 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科 主任教授

〔研究の目的〕 小さな腎腫瘍に対する腎部分切除術（腎の一部を温存する手術）は、腎機能を保護する観点から、現在は標準的な術式となりつつあります。しかし、手術操作により腎を切除した断端部に破裂し易い小さな血管の異常（仮性動脈瘤と言います）が生じ、出血を来す事があります。当院では、術後早期に造影剤を用いた CT 検査でこの血管の異常の有無を評価し、治療が必要な異常が存在した場合は、カテーテルを用いて予防的に塞栓術を実施しています。今回、腎部分切除術後の仮性動脈瘤に対する予防的塞栓術の臨床的な効果について後ろ向きに検討して、その有用性を調査します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 18 年 1 月 1 日から平成 28 年 1 月 31 日の間に腎部分切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、採血データ、CT 画像、血管造影画像、塞栓術の内容、手術所見、病理所見、臨床経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 森田 賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 26 年 3 月 23 日

通院中または入院されている 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 トリグリセライド (TG) は遊離グリセライドを含めて測定すべきか

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院、順天堂大学医学部、信州大学医学部、慶應義塾大学病院、東邦大学医療センター佐倉病院、新東京病院

〔研究責任者〕 糖尿代謝内科 教授 佐藤麻子

〔研究の目的〕

現在、トリグリセライドの測定法は日本と海外で異なり、日本の測定法は遊離グリセライドを消去する「消去法」を用いている。これに対し海外の測定法は遊離グリセライドを消去しない「未消去法」を用いている。今回、この遊離グリセライドに着目し日本と海外の測定法の違いに濃度の差があるのかを検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当院外来を受診された患者さん及び入院されている患者さんで、倫理委員会承認日から平成 29 年 3 月 31 日の間に診療時採血（ルーチン採血）でトリグリセライド (TG)・HDL・トータルコレステロール、遊離脂肪酸を測定した患者さんの血液

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（血清）

カルテ情報：

年齢、性別、身長、体重、検査結果（血液検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*本研究には、どなたの検体か判らないようにした残血清を使用しますので、検体・カルテ情報の利用を了解しない旨のお申し出を受けることができませんので、ご了承ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿代謝内科

担当医師 佐藤 麻子

電話 03-3353-8112 (内線 21037)

[事務局 (相談窓口)]

〒113-8421

東京都文京区本郷 2-1-1

順天堂大学医学部 臨床検査医学

平山 哲

電話 03-5813-3111 (PHS 71384)

FAX 03-5684-1609

Eメール sthiraya@juntendo.ac.jp

平成 26 年 6 月 26 日

一般内科に通院中（または過去に通院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 一般内科外来における愁訴に関する多施設共同研究
～復職医師が外来を担うための教育体制整備に向けて～

[研究機関] 東京女子医科大学 男女共同参画推進局 女性医師再教育センター

[研究責任者] 東京女子医科大学 男女共同参画推進局 女性医師再教育センター長
女性生涯健康センター 教授 檜垣 祐子

[研究の目的]

一般内科初診外来に来る方の愁訴とその後の経過、病名を明らかにするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011 年 6 月 15 日から 2011 年 7 月 15 日、および 2012 年 1 月 16 日～2 月 15 日の間に
一般内科初診外来を受診したかた

●利用するカルテ情報

年齢、性別、問診票の内容、治療内容、診断名、処方内容、受診歴、転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 男女共同参画推進局 女性医師再教育センター
担当医師 横田 仁子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7378

平成 28 年 2 月 12 日

**循環器内科・画像診断・核医学科に通院中（または過去に通院・入院された
ことのある）の患者さんまたはご家族の方へ**

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心サルコイドーシスにおける非侵襲的画像所見に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

〔研究責任者〕 画像診断・核医学講座 主任教授 坂井修二

〔研究の目的〕

心サルコイドーシスの画像所見と病態との関連を明らかにし、画像所見から精度の高い診断能や治療方針に結びつく指標を探索することを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心サルコイドーシスが疑われた患者さんで、平成 24 年 8 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日の間に FDG-PET 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、臨床経過、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、24 時間ホルター心電図、心臓超音波検査、病理所見、心臓カテーテル検査所見）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 百瀬満

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7531

平成 28 年 3 月 4 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 関節リウマチ患者における足部足関節機能障害評価方法と、保存療法ならびに手術的治療における成績不良因子の後向き研究

【研究機関】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

【研究責任者】 桃原茂樹、膠原病リウマチ痛風センター、教授

【研究の目的】 リウマチ上肢機能障害に対するよりよい評価方法の確立と、各種治療法の成績不良因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、平成 10 年 4 月 1 日から平成 28 年 2 月 29 日の間にリウマチ性足部足関節障害の検査や治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、細菌学的検査）、アンケート結果、手術記録、術中所見、病理組織学的所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 矢野紘一郎

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 2 月 16 日

神経精神科・心身医療科に通院中の（もしくは過去に通院されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児腎臓移植レシピエントの精神発達と移植腎の正着

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経精神科・心身医療科

[研究責任者] 神経精神科主任教授 石郷岡純

[研究の目的]

小児期に腎臓移植を受けた方の精神発達やメンタルヘルスと適応との関連を調べ、移植後のより良い生活をサポートする方法を検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2006 年 1 月 1 日から 2016 年 1 月 31 日までの間に東京女子医科大学心身医療科小児移植外来に通院し、腎臓移植を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、検査結果（血液検査、病理学検査、心理検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当者 井上敦子

電話 03-3353-8111（代） FAX 03-3351-8979

平成 27 年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、臨床用の検査の残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 グリコアルブミン新規項目間演算式検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院中央検査部

【研究責任者】 東京女子医科大学中央検査部 臨床検査科 教授 佐藤麻子

【研究の目的】 血中グリコアルブミンのより正確な新規測定法と従来法の関係について評価を実施致します。

この研究は、旭化成ファーマとの共同研究で実施いたします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

グリコヘモグロビン(HbA1c)の測定依頼があった患者さんで、倫理委員会承認後から平成 29 年 3 月 31 日の間で、検査後に残余検体の残っている患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（グリコヘモグロビン(HbA1c)の測定依頼と同時に採血した血清もしくは血漿の残余検体

カルテ情報：グリコヘモグロビン(HbA1c)を含む糖尿病関連検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3553-8112 FAX 03-5269-7469

平成 28 年 2 月 1 日

高血圧・内分泌内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 副腎静脈サンプリング検査の成功率に寄与する因子の探索

【研究機関】 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科、高血圧・内分泌内科

【研究責任者】 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学科 教授・講座主任

【研究の目的】 原発性アルドステロン症患者に対する副腎静脈サンプリング検査の手法による成功率の差と、その結果による臨床的意義について検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

原発性アルドステロン症（もしくはその疑い）の患者さんで、平成 18 年 6 月 1 日から平成 28 年 1 月 31 日の間に副腎静脈サンプリング検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査、副腎静脈サンプリングの手法・採血値、病理所見）、臨床経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 森田 賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院へ通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、生化学検査の測定した後の残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

- 〔研究課題名〕 膵疾患の診断に用いられる検査項目（リパーゼ）の有用性の比較検討
 〔研究機関〕 東京女子医科大学病院中央検査部 検体検査室
 〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院中央検査部 臨床検査科 教授 佐藤 麻子
 〔研究の目的〕 医師から依頼された生化学検査の測定後の残った検体を使って、新しく開発されたリパーゼ試薬を使って測定を行い、現在使用している試薬と同等の結果が出るか検討します。
 この研究は、株式会社シテストの受託研究として行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さんの検体

生化学検査の測定後、倫理委員会承認後から平成 28 年 12 月 31 日の間に検体の残余量のある患者さんの検体

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、尿、その他の体液

カルテ情報：①患者基本情報：年齢、性別

②疾患情報：疾患名

③血液検査結果：LIP、AMY、P-AMY、T-CHO、TG、HDL、LDL、NEFA、血清 CRP、肝機能、腎機能、電解質

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部

技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8112 内線 38215)

FAX 03-5269-7469

平成 27 年 11 月 30 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、当院内に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「膵がん切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタビン療法と S-1 療法の第Ⅲ相比較試験（JASPAC 01）」付随研究 －膵がん切除例における補助化学療法の効果予測因子および予後因子に関する研究－

【研究機関】 東京女子医科大学附属八千代医療センター 消化器外科

【研究責任者】 新井田 達雄 消化器外科 教授

【研究の目的】

JASPAC 01 研究に参加された患者さんの腫瘍組織から、抗がん剤の効果の個人差を予測できる可能性がある遺伝子の発現状況とタンパク発現量を調べ、どのような患者さんでより治療効果が期待できるのか検討することを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

「膵がん切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタビン療法と S-1 療法の第Ⅲ相比較試験（JASPAC 01）」に参加されていた方

●利用する検体

膵がんの手術を受けられた際に摘出した腫瘍組織

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター 消化器外科 担当医師 鬼澤 俊輔

電話 047-450-6000（代表） FAX 047-458-7067

2020 10/31

平成 27 年 11 月 30 日

東京女子医科大学東医療センター産婦人科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 妊娠前の母体栄養状態（肥満の程度）からみたやせと肥満合併妊娠の周産期予後に関する後方視的検討

【研究機関】 東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科

【研究責任者】 高木 耕一郎 東京女子医科大学 東医療センター産婦人科 (教授)
村岡 光恵 東京女子医科大学 東医療センター産婦人科 (講師)

【研究の目的】

単胎分娩における妊娠前の肥満度と 周産期予後の関連を見ることにより
やせや肥満の妊婦さんの適正な体重管理について検討します

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 17 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に東京女子医科大学東医療センター産婦人科で入院分娩管理なされたかた

●利用するカルテ情報

カルテより 母体の年齢 性別 身体所見 双胎の膜性診断
分娩記録 助産録 より 分娩週数 出生児の体重 身体所見 胎盤情報 など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 東医療センター産婦人科 担当医師 村岡 光恵

電話 03-3810-1112 内線 7746・・・ FAX 03-3800-4786・

平成 27 年 11 月 30 日

東京女子医科大学東医療センター産婦人科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 双胎妊娠におけるの妊娠前の母体体格ならびに妊娠中の栄養状態が胎児発育に及ぼす影響に関する後方視的分析

【研究機関】 東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科

【研究責任者】 高木 耕一郎 東京女子医科大学 東医療センター産婦人科 (教授)
村岡 光恵 東京女子医科大学 東医療センター産婦人科 (講師)

【研究の目的】

双胎妊娠における児発育と妊娠前の母体の体格との関連を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

双胎にて分娩なされた患者さんで、平成 17 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に東京女子医科大学東医療センター産婦人科で入院分娩管理なされたかた

●利用するカルテ情報

カルテより 母体の年齢 性別 身体所見 双胎の膜性診断
分娩記録 助産録 より 分娩週数 出生児の体重 身体所見 胎盤情報 など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 東医療センター産婦人科 担当医師 村岡 光恵

電話 03-3810-1112 内線 7746・・・ FAX 03-3800-4786・

作成日：平成27年10月31日 第1版

平成27年12月28日 第2版

膠原病リウマチ痛風センターに通院中**または過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ****-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ベーチェット病に関連する疫学研究**[研究機関]** 東京女子医科大学病院附属膠原病リウマチ痛風センター**[研究責任者]** 山中 寿、膠原病リウマチ痛風センター、教授**[研究の目的]** ベーチェット病に関連する診断、症状・所見、治療について検討する**[研究の方法]**

●対象となる患者さん

平成4年度から平成27年度の間に膠原病リウマチ痛風センターにて診療録を作成されたベーチェット病の方

●利用するカルテ情報

個人情報を除く全カルテ情報：

診断名、年齢、性別、全病歴、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、髄液検査、画像検査、生理学的検査、生体検査、病理検査）、文書

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町10-22

東京女子医科大学病院附属膠原病リウマチ痛風センター 担当医師 小橋川 剛

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成●年●月●日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 潰瘍性大腸炎合併大腸癌および前癌病変の臨床病理学的検討
多施設共同研究

[主任研究機関] 東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科学

[参加研究機関] 東京女子医科大学病院第二外科、他 9 施設

[研究の目的] 潰瘍性大腸炎合併癌症例の特徴を明らかにすることにより早期発見方法や治療法を確立することを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1950 年 1 月以降に当院で治療を受けられた潰瘍性大腸炎合併大腸癌およびその前癌病変患者

●利用するカルテ情報

年齢、性別、既往歴、家族歴、手術術式、病理組織学的所見、経過記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 板橋道朗

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 27 年 12 月 29 日

**脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたは御家族の方へ（臨床研究に関する情報）**

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常の診療上の検査データを用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 根治的・保存的治療を行った未破裂脳動脈瘤の単一施設での
破裂率と機能予後：データベースをもとにして

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター

【研究組織】 (◎ 研究責任者)

◎ 糟谷 英俊	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科 教授
笹原 篤	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科 講師
新井 直幸	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科医療練士
黒井 康博	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科医療練士

【研究の目的】

当院に来院された沢山の未破裂脳動脈瘤を有する患者様の経過の中で、その破裂率や発生に関与した因子を明らかにする事を目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2006年1月1日から2015年3月31日までに東京女子医科大学東医療センター脳神経外科に来院された未破裂脳動脈瘤を有する患者さん

●利用する検査結果およびカルテ情報

検査結果:CT・MRI

カルテ情報: 診断名、年齢、性別、病歴、治療内容、患者状態、家族歴、社会歴等

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、ご住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査結果を利用することを御了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問合せ先】

東京都荒川区西尾久2-1-10

東京女子医科大学東医療センター脳神経外科 担当医師 糟谷英俊

電話 03-3810-1111 (6135) FAX 03-3819-8680

平成 28 年 1 月 18 日

耳鼻咽喉科・呼吸器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「気管支喘息に対する吸入療法強化による上気道好酸球性炎症（好酸球性中耳炎、好酸球性副鼻腔炎）への効果」

【研究機関】 東京女子医科大学病院 耳鼻咽喉科・呼吸器内科

【研究責任者】 吉原 俊雄 耳鼻咽喉科 教授

【研究の目的】

好酸球性中耳炎や好酸球性副鼻腔炎は難治性で、気管支喘息を高率に合併します。近年、好酸球性中耳炎や好酸球性副鼻腔炎の治療として、気管支喘息の治療を適切に行うことが重要であると考えられつつあります。そこで、ある一定期間において呼吸器内科で行われている喘息の治療方法別に、既に施行されている血液検査、呼吸機能検査、胸部 CT、NO 値、好酸球性中耳炎の自覚症状や耳内所見、聴力検査、側頭骨 CT 所見、好酸球性副鼻腔炎の自覚症状や鼻内所見、嗅覚検査、副鼻腔 CT を後ろ向きに比較検討することで、適切な喘息治療の強化がどのように好酸球性中耳炎や好酸球性副鼻腔炎へ影響するかを同定することが目的です。治療の強化は薬剤添付文書の容量範囲内で、患者さんの喘息の程度に応じた適切な容量です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 18 年 1 月 1 日から平成 27 年 11 月 30 日の間で呼吸器内科、耳鼻咽喉科に通院または入院された気管支喘息と、好酸球性中耳炎または好酸球性副鼻腔炎を合併している患者さん

●利用するカルテ情報

年齢 性別 罹病期間 自覚症状 局所所見 聴力検査所見 嗅覚検査所見 血液検査所見 呼吸機能検査所見 NO 値 CT（側頭骨、副鼻腔、胸部）合併症 治療内容

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院耳鼻咽喉科

担当医師 瀬尾 友佳子

電話 03-3353-8111

平成 27 年 11 月 18 日

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 過去 3 年間における麻酔関連の事故報告および Shell モデルに基づく要因分析

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター麻酔科

【研究責任者】 東京女子医科大学東医療センター麻酔科 小森 万希子

【研究の目的】

ヒトはミスを犯す存在であり、多数の予測されたヒヤリ・ハットする軽微な事故が重大事故に至るハインリッヒの法則から、重大事故を未然に防ぐために、事故の報告、その要因分析、評価することが重要だ。そこで、過去 3 年間の麻酔科関連の報告を分析し、その根本要因につき検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012 年から 2014 年度の過去 3 年間のインシデント・アクシデント報告

●利用するカルテ情報

- ① 基本情報：年齢、身長、体重、合併症、手術歴、服薬歴
- ② 麻酔情報：麻酔薬種類と投与量と輸液量、血液製剤の使用状況
- ③ 手術情報：手術記録上の情報
- ④ 術後情報：集中治療室滞在日数、合併症、術後の入院日数

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

職名 東京女子医科大学東医療センター麻酔科 講師

氏名 市川 順子

連絡先 03-3810-1111 (院内 PHS 7823)

平成 28 年 1 月 9 日

循環器内科に通院・入院されたことのある患者さんへ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究はカルテ情報を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 慢性心不全患者における精神科受診に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 神経精神科・循環器内科

【研究責任者】 神経精神科教授・講座主任 石郷岡純

【研究の目的】

慢性心不全患者におけるメンタルヘルスの問題を明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

慢性心不全の患者さんで、平成 17 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に循環器内科に入院あるいは通院されていた方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：循環器内科および精神科の診療記録・看護記録

*循環器疾患診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、精神科受診の有無、精神科診断、処方薬、合併症

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当医師 西村勝治

電話 03-3353-8111（代） FAX 03-3351-8979

平成 28 年 1 月 18 日

東京女子医科大学附属青山病院循環器内科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心尖部肥大型心筋症患者における心筋の線維化的負荷の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院附属青山病院

[研究責任者] 長原 光 東京女子医科大学附属青山病院 院長

[研究の目的]

心尖部肥大型心筋症患者の心筋障害（線維化）の病態を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

心尖部肥大型心筋症の患者さんで、平成 25 年 8 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日の間に心臓 MRI の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

患者背景（年齢、性別）

検査内容（血液検査、心電図検査、心臓超音波検査、心臓 MRI 検査）

治療内容（薬物治療）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都港区北青山 2-7-13

東京女子医科大学附属青山病院循環器内科

担当医師 渡邊 絵里

電話 03-5411-8111 FAX 03-5411-8126

平成 28 年 1 月 18 日

東京女子医科大学附属青山病院循環器内科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 日本人における Myocardial crypt についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院附属青山病院

[研究責任者] 長原 光 東京女子医科大学附属青山病院 院長

[研究の目的]

Myocardial crypt (心筋陰窩) は、心筋にみられる狭い陥凹で、欧米では肥大型心筋症やその遺伝子保持者に多いという報告がありますが、myocardial crypt の頻度や特徴が、人種や肥大型心筋症の種類によって異なるかは不明です。

本研究の目的は、日本人における myocardial crypt の頻度と特徴を検討することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 24 年 1 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日の間に心臓 MRI の検査を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

患者背景 (年齢、性別、既往歴、家族歴)

検査内容 (血液検査、心電図検査、心臓超音波検査、心臓 MRI 検査)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都港区北青山 2-7-13

東京女子医科大学附属青山病院循環器内科

担当医師 渡邊 絵里

電話 03-5411-8111 FAX 03-5411-8126

別紙 1 参加医療施設における本研究実施に関する掲示ポスター

関節リウマチで当院にご通院中の患者様へ

- 当院では「関節リウマチ患者におけるリンパ増殖性疾患に関する研究」を実施しております。この研究は一般社団法人日本リウマチ学会が中心となって、関節リウマチの治療をより安全に行うために全国規模で実施中の多施設共同研究です。2011 年 4 月 1 日から 2011 年 7 月 31 日の間に当院を受診された患者様について、この間の最初の受診日から 3 年間のデータについて診療録を用いて調査します。
- リンパ増殖性疾患とは、人間の体を外敵から守る仕組みである免疫を担当するリンパ球が増えてしまう疾患です。症状としては、リンパ節が腫れたり、リンパ節以外の組織にリンパ球が集まって腫瘤を形成したりします。リンパ増殖性疾患の中にリンパ球のがんであるリンパ腫も含まれています。
- 「関節リウマチ患者におけるリンパ増殖性疾患に関する研究」の研究目的・研究内容は以下の通りです。患者様ご自身のこの研究への登録の有・無については主治医にお問い合わせ下さい。

【研究目的】日本人関節リウマチ患者におけるリンパ増殖性疾患の頻度、特徴、行われた治療、その後の経過などを調査します。

【研究内容】

1. 研究予定

研究実施期間は当院の倫理審査委員会承認から2020年3月31日までです。

研究開始時	院内ポスター掲示により研究内容を公開します
研究対象者の同定	登録基準を満たす患者さんを診療録から同定します
研究の実施	診療録から臨床情報を収集します
臨床情報の提出	症例報告書を記載し、研究本部へ送付します
臨床情報の解析	研究本部で収集した臨床情報を集計、解析します
結果の公表	専門学会、医学雑誌等で研究成果を報告します

2. 研究の対象となる方

- ① 2011年4月1日から2011年7月31日の4か月間に一度でも当院を受診された20歳以上の関節リウマチ患者様で、同期間中の受診日が早い順に300名の方を対象とします。
- ② 同期間中の受診日から3年間（観察期間）のデータを診療録から収集します。
- ③ 3年間の観察期間中にリンパ増殖性疾患を発現した場合は、発現時からさらに5年間のデータを診療録から収集します。

3. この研究で収集するデータ

- | | |
|----------------------------------|--|
| ① 医療機関名、診療科名 | の有・無と種類 |
| ② 性別 | ⑨ 赤沈、CRP、LDH、腫脹関節数、圧痛関節数、医師・患者による活動性評価 |
| ③ 生年月日 | ⑩ 3年間の観察期間中の生存、通院状況（死亡の場合は日付と死因、通院中止の場合は中止日） |
| ④ 2011年4月1日から2011年7月31日の間の最初の受診時 | ⑪ リンパ増殖性疾患の有・無と種類 |
| ⑤ 合併症の有無・病名 | ⑫ リンパ増殖性疾患を発症した場合には、その検査結果、治療内容、治療効果など |
| ⑥ 悪性腫瘍の既往・合併 | |
| ⑦ 関節リウマチの治療薬 | |
| ⑧ その他の免疫抑制治療、化学療法、放射線療法 | |
- * データの収集は担当医が行いますので、患者様には特別にお願いすることはありません

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守って実施されます。既に得られた診療録のデータのみを使用する研究ですので、患者様お一人ずつの書面あるいは口頭でのご同意は頂かずに、この掲示などによる患者様へのお知らせをもってこの研究の対象となる患者様からのご同意を頂いたものとして実施されます。収集したデータは個人が特定できないように通し番号を付与した後、下記の研究本部に送付し、厳重な管理のもとで保管されます。通し番号と個人の対応表は当施設で厳重に管理します。研究結果は、個人が特定出来ない形式で発表されます。患者様におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

万が一、この研究へのご参加をご希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合には、担当医に直接お申

し出頂くか、下記の研究本部へご連絡ください。ご希望に合わせて対応いたします。研究に関するご質問は、担当医あるいは下記研究本部がお受けします。

【利益相反について】

本研究は、一般社団法人 日本リウマチ学会の資金、東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門の研究費を用いて行われています。リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門は、武田薬品工業株式会社、あゆみ製薬株式会社（旧：参天製薬）からの寄付金により運営されています。研究の計画・実施にこれらの企業は関与していません。また、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図って参ります。

※利益相反とは：研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

研究全体の総括責任者（研究本部）：東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター
リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門 特任教授 針谷正祥

研究本部

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター
リウマチ性疾患薬剤疫学研究部門

本部責任者の氏名 針谷正祥

住所：東京都東京都新宿区河田町1-22

電話 03-3353-8112 (34325)

FAX 03-5269-1726

受付時間：月曜から金曜午前10時から午後4時（土曜・日曜・祝日はお休みです）

平成 年 月

医療機関名

診療科名

診療科責任者名

有限責任中間法人
R 日本リウマチ学会

H35 3/31

平成 27 年 11 月 30 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] FDG-PET/CT による腎細胞癌の組織型、及び予後予測に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

[研究責任者] 坂井修二 画像診断・核医学科 教授

[研究の目的]

FDG-PET/CT による腎細胞癌の組織型や予後予測を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

腎細胞癌と診断され、2013 年 9 月 1 日から 2015 年 11 月 30 日の間に FDG-PET/CT の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、病理結果）、画像検査（CT, MRI, FDG-PET/CT）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

担当医師 中島怜子/阿部光一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 27 年 12 月 21 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、手術後に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 胆管癌細胞におけるケモカインレセプターの発現と転移の関連性の解析

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器外科

【研究責任者】 山本雅一 消化器外科 教授

【研究の目的】

胆管癌の転移機構の解明

【研究の方法】

●対象となる患者さん

胆管癌の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日の間に手術をうけられた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術標本

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像検査、病理検査）、手術写真、標本写真

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 矢川陽介

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 10 月 1 日

内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 無症候性甲状腺乳頭癌の臨床病期の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第二外科

〔研究責任者〕 岡本 高宏 東京女子医科大学 第二外科 教授・講座主任

〔研究の目的〕 無症候性甲状腺乳頭癌の病期を明らかにする

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2010 年 1 月から 2013 年 12 月までの間に東京女子医科大学内分泌外科で手術を施行した甲状腺乳頭癌患者。

●利用するカルテ情報

術前病期、術後病期、年齢、性別、家族歴、病理組織学的所見、TNM、手術所見、術式

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院内分泌外科

電話 03-3353-8111（内線 36631）

担当医師 徳光 宏紀

FAX 03-5269-7341

平成 27 年 1 月 25 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 頭蓋内悪性リンパ腫に関する各種因子と予後に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院脳神経外科

〔研究責任者〕 村垣善浩 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

〔研究の目的〕 頭蓋内悪性リンパ腫に関する各種因子（年齢、腫瘍の種類、グレード、摘出率など）と予後（再発の有無や生存期間など）がどのように関連しているかを調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

頭蓋内悪性リンパ腫の確定診断がついた患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 10 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 村垣善浩、丸山隆志、新田雅之

電話 03-3353-8112(66003) FAX 03-5312-1844

平成 27 年 12 月 25 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 血液維持透析患者における経内視鏡的逆行性膵管胆管造影のリスクについての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 徳重 克年、消化器内科、講座主任

【研究の目的】

経内視鏡的逆行性胆管膵管造影は胆膵疾患の診断と治療には有効な手技であるが、重篤な偶発症が発生することがある。本研究では血液維持透析患者における ERCP の偶発症発生のリスクとそれに関わる因子について検討する。

【研究の方法】

● 対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 24 日までの間に東京女子医科大学消化器内科に入院し、ERCP を受けられた患者

● 利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病歴、身体所見、検査結果（血液生化学検査、腫瘍マーカー）、腹部超音波検査、CT、MRI、ERCP、ERCP 報告書、ERCP 後の経過の病歴、治療内容

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科

担当医師 清水京子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7435

平成 28 年 2 月 1 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 先天性心疾患における体成分分析の臨床的意義に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授

〔研究の目的〕

体成分分析が先天性心疾患患者における心不全の治療戦略および予後予測に役立つ指標かどうかを検討すること。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2013年から2015年までの間に東京女子医大循環器小児科に入院し体成分分析を実施した者。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、体重、疾患名、治療内容、合併症、血圧、心拍数、経皮的酸素飽和度、心不全重症度、再入院・死亡の有無、血算、アルブミン、クレアチニン、ナトリウム、BNP、胸部レントゲン、心臓超音波、体成分分析、6分間歩行、心肺運動負荷試験

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 佐藤 正規

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 12 月 29 日

内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 男性乳癌および男性乳癌家族歴を有する女性乳癌患者の臨床的特徴

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院内分泌外科

〔研究責任者〕 岡本 高宏 東京女子医科大学 第二外科学教室 教授・講座主任

〔研究の目的〕

女性乳癌に比較して男性乳癌は稀な疾患です。そのため臨床的にわかっていないことが多くあります。また遺伝子異常を伴う遺伝性乳癌との関係も明らかになっています。この研究の目的は男性乳癌やその家族歴を有する女性乳癌患者の臨床的な特徴を明らかにして今後の診療に役立てることです。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

原発性乳癌の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に乳癌に対する根治手術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別
- ②身体所見
- ③診断名（組織型、TNM 分類、免疫染色）
- ④画像検査結果
- ⑤生理学検査結果
- ⑥血液検査結果（腫瘍マーカーを含む）
- ⑦治療内容
- ⑧個人歴（身長、体重、主訴、既往歴、家族歴、喫煙歴、アレルギー、乳癌検診歴、家族構成）
- ⑨麻酔方法、術中使用薬剤
- ⑩術式、手術内容（術中所見、手術時間、麻酔時間、出血量、輸血の有無）
- ⑪併存症に対する周術期治療の有無と内容
- ⑫術後使用薬剤
- ⑬術後経過（術後合併症の有無など）
- ⑭病理組織学的診断

- ⑮術後補助療法（放射線、薬物療法、その他）
- ⑯術後外来での転移・再発検査所見
- ⑰転移・再発治療
- ⑱遺伝子検査の有無とその結果
- ⑲転帰
- ⑳カルテ記載内容（投薬内容、他院での治療の有無など）

[個人情報取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院内分泌外科 担当医師 永井絵林

電話 03-3353-8111（代表） FAX 03-5269-7341

平成 27 年 12 月 25 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 根治切除可能食道癌に対する術前 DCF 療法施行例の臨床病理学的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 消化器外科

[研究責任者] 消化器外科 教授 山本雅一

[研究の目的]

食道癌に対しての DCF 療法の治療効果を調査するため、FP 療法と比較する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

食道癌の手術患者さんで、2000 年から 2015 年 1 月に
当院で術前化学療法を受けられ手術をされた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査）治療内容

手術方法 手術関連事項（時間 出血量 輸血量）合併症 入院期間

術後在院日数 抗がん剤投与量

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科 担当医師 白井 雄史

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 9 月 1 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、手術時に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 大腸癌における上皮成長因子受容体リガンドの発現量のバイオマーカーとしての有用性の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センター 消化器外科、化学療法部

〔研究責任者〕 東京女子医科大学八千代医療センター 消化器外科 教授 新井田 達雄

〔研究の目的〕上皮成長因子受容体リガンドの発現量が、大腸癌の再発・予後因子となりえるか検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

東京女子医科大学八千代医療センターの消化器外科に通院または入院し、2007年1月から2014年12月の間に大腸癌に対して原発巣を手術し、検体を保管した患者を対象とします。また病気の予後や再発の傾向をみるため、比較的病期の進んだstageⅢa～Ⅳの患者さんに限定します。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術時摘出標本で病理検体として保存しているもの

カルテ情報：年齢、性別、疾患名、手術日、治療内容、再発の有無と日時、死亡の有無と日時、白血球数、血液像、腫瘍マーカー（CEA）、CRP、腫瘍の部位・組織型・侵達度、リンパ節転移数、病期(Stage)

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学八千代医療センター 医局 047-450-6000（内線）2424

担当医師 石多猛志

平成 28 年 1 月 1 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「ロボット支援下腹腔鏡下腎部分切除術と開腹腎部分切除術の周術期成績比較」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

ロボット支援下腹腔鏡下腎部分切除術の安全性の検証

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎腫瘍の患者さんで、2012 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間にロボット支援下腹腔鏡下腎部分切除術ないし開腹腎部分切除術をうけた患者さん。

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、腫瘍径、臨床病期、病理結果、症状の有無、腫瘍個数、身長、体重

②術前後腎機能、術前 Charlson comorbidity index、術後在院日数、透析導入の有無、合併症、手術前と手術後の正常腎実質体積

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 12 月 10 日

八千代医療センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 糖尿病における、がん発症に関する実態調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学附属八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科
教授 橋本尚武

〔研究の目的〕

がんにかかった方で且つ糖尿病のある患者さんについて、糖尿病のない患者さんと比べて年齢や体重、血液検査結果などにどのような違いがあるかを調べ、将来的に患者さんのがんの早期発見につなげられるかどうかを検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2007 年 12 月～2015 年 12 月の間に、がんにより当院へ外来通院歴のある患者さん

●利用するカルテ情報

がんの診断名、年齢、性別、身長、体重、糖尿病の罹病期間、治療内容、血液検査結果、診療記録

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

橋本 尚武

電話 047-450-6000

平成 28 年 2 月 5 日

東医療センター小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 当科におけるアドレナリン自己注射薬(エピペン)の処方例と使用例の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター小児科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学東医療センター小児科 教授 杉原茂孝

〔研究の目的〕

これまで当科でエピペンを新規処方した症例とエピペンを使用した症例の臨床的特徴を把握し、今後のアレルギー診療に生かしていくため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

東医療センター小児科で 2009 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間にエピペンを新規処方された方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見、アレルギー歴、エピペンの処方理由
エピペンを使用した状況、アナフィラキシーの程度や治療方法

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院小児科

担当医師 東範彦

電話 03-3810-1111

平成 28 年 2 月 日

腎内科、腎小児科、泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 腎生検組織に見られる糸球体血管極病変の臨床病理学的解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院病理診断科、腎内科、腎小児科、泌尿器科

〔研究責任者〕 長嶋洋治・東京女子医科大学病院病理診断科・教授

〔研究の目的〕

腎臓の糸球体の血管極に見られる異常血管増生、結節状病変などの変化の腎生検組織上での出現を、臨床所見と併せて検討する。そしてこれらの変化が特定の腎疾患との関わりを持つものであるかを明らかにする。これにより腎疾患の更なる理解と、組織診断を通じた適切な治療法の選択に役立てることを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に当院腎臓内科並びに腎臓小児科で腎生検を受けられた方。ならびに 2013 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に当院泌尿器科にて生体腎移植のドナーとなられた方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：腎生検病理組織標本

カルテ情報：年齢、性別、身体所見、家族歴、既往歴、疾患名、臨床病歴、腎生検日、腎生検診断報告、治療内容、投薬歴、血算、腎機能、電解質、生化学検査、免疫学的検査、尿検査結果。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院病理診断科 担当医師 金網友木子

電話 03-3353-8111 (内線 25226) FAX 03-5269-7358

情報公開文書

平成 28 年 1 月 27 日

ガンマナイフ治療を受けられた皆様へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去にガンマナイフで治療された患者様の血圧や経皮的酸素飽和度のデータを用いています。厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどが有りましたら、以下のお問い合わせ先へご紹介ください。

【研究課題名】

ガンマナイフにおける EtCO₂ モニターが、治療中の患者の安全性に寄与していることの検討

【研究機関】

東京女子医科大学病院

【研究責任者】

麻酔科学教室 教授 尾崎 眞

【研究の目的】

ガンマナイフにおける EtCO₂ をモニターし、ガンマナイフ治療を安全に遂行できることの一助となっているということを解明する

【研究の方法】

- ・対象となる患者さん

東京女子医科大学で 2016 年 1 月 1 日から 2016 年 6 月 30 日までにガンマナイフ治療を受けた患者さん

- ・利用するカルテ情報

東京女子医科大学で 2015 年 8 月から 2015 年 11 月までにガンマナイフ治療を受けた患者さん

カルテ情報：血圧、脈拍、経皮的酸素飽和度、その他経過表記載の情報

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究結果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※ 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了承いただけない場合は以下にご連絡く

ださい

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 麻酔科学講座 担当医師 駒山徳明

電話 : 03-3353-8111

平成 28 年 1 月 8 日

腎臓外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究には、残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 BD FACSCant II によるリンパ球クロスマッチ検査の基礎的検討

【研究機関】 東京女子医科大学 腎臓外科

【研究責任者】 渕之上 昌平 東京女子医科大学病院 腎臓外科 准教授

【研究の目的】 分析機器変更に伴うリンパ球クロスマッチ検査の基礎的検討

【研究の方法】

●対象となる患者さん・臓器提供ドナーの方

倫理委員会承認後から平成 29 年 3 月 31 日の間にリンパ球クロスマッチ検査依頼があった検体残余量のある患者さん・臓器提供ドナーの方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液

カルテ情報：

- ① 患者基本情報：年齢・性別
- ② 治療内容
- ③ 検査結果（組織適合性検査、生化学検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓外科 担当医師 医局長 小山 一郎

電話 03-3353-8111 内線 36441～3 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 1 月 8 日

腎臓外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究には、残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 LABScan3D システムによる抗 HLA 抗体検査の基礎的検討

【研究機関】 東京女子医科大学 腎臓外科

【研究責任者】 洲之上 昌平 東京女子医科大学病院 腎臓外科 准教授

【研究の目的】 分析機器変更に伴う抗 HLA 抗体検査の基礎的検討

【研究の方法】

●対象となる患者さん

倫理委員会承認後から平成 29 年 3 月 31 日の間に抗 HLA 抗体検査依頼があった検体残余量のある患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液

カルテ情報：

- ① 患者基本情報：年齢・性別
- ② 治療内容
- ③ 検査結果（組織適合性検査、生化学検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓外科 担当医師 医局長 小山 一郎

電話 03-3353-8111 内線 36441～3 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 1 月 13 日

消化器外科で肝臓移植を受けた患者さん、およびドナーとなった方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 肝臓移植ドナーおよびレシピエントに併存する精神疾患の後方視的多施設共同研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 神経精神科・消化器外科

【研究責任者】 神経精神科 教授・講座主任 石郷岡純

【研究の目的】 肝臓移植のドナー・レシピエントの方におけるメンタルヘルスの問題を明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肝臓移植ドナー（生体）、レシピエント（脳死・生体）の方で、平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 1 月 13 日の間に移植を受けた方

●利用するカルテ情報

肝臓疾患の診断名、臨床経過、重症度、移植時の身体情報、移植後の臨床経過（ドナーの場合はレシピエントの臨床経過）。精神疾患が併存する場合にはその診断名、臨床経過、治療法〔薬物療法（向精神薬）に関しては、薬剤名、投与量、投与期間〕。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当医師 西村勝治

電話 03-3353-8111（代表） FAX 03-3351-8979

平成 27 年 12 月 ● 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた保管検体を利用し過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 全自動免疫測定装置「HISCL-5000」を用いた「HISCL® ANP 試薬」の
基礎的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 中央検査部

[研究責任者] 中央検査部 運営部長 川島 眞

[研究の目的]

ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP) の検査を行う測定試薬が新たに開発されたため、従来試薬と同じ値が出るか性能を評価します。

この研究は、シスメックス株式会社からの受託研究で行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP) 測定の依頼のあった患者さんで、平成 27 年 5 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に測定され、残余となった血液

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血漿(アプロチニン入り EDTA 採血管で採取された検体)

カルテ情報：ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に保管検体またはカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 管理機構室 担当 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112 (内線 38215) FAX 03-5269-7469

平成 28 年 2 月 9 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

TCPC conversion 術後患者の予後について

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

[研究の目的]

心耳肺動脈吻合型 Fontan 手術を行った患者は手術後遠隔期に不整脈や血栓症や心不全などの合併症のため Fontan 変換手術を余儀なくされる事があります。しかしながら、手術の適応やタイミングについては明確ではありません。本研究の目的は Fontan 変換手術を行った患者の予後や予後に関連する血液検査、画像検査結果を検討する事によって手術の適応や至適時期を考案し、今後の診療に役立てることです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1992 年 1 月から 2015 年 12 月に単心室形態で Fontan 変換手術を行った患者

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、身体所見、検査結果（血液検査、心エコー検査、腹部エコー検査、心臓カテーテル検査、CT 検査）、手術内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朝貝 省史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 2 月 9 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 Fontan 術後患者の心室 stiffness について

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

〔研究の目的〕

二心室形態の患者において左心室の拡張不全を伴う心不全の原因として心室の硬度の指標となる心室 stiffness が関与していると報告されていますがフォンタン術後患者において心室 stiffness の機序、並びに運動耐容能や心不全などの臨床症状との相関性に関してははっきり分かっていません。フォンタン術後患者においてカテーテル検査で心室 stiffness を測定し、血液検査や画像検査との相関性や運動耐容能の相関性について検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2013 年 1 月から 2015 年 12 月までに単心室形態でフォンタン術後中遠隔期にカテーテル検査を行った患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朝貝 省史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 2 月 9 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

Fontan 術後患者における上行大動脈の拡張のメカニズムと臨床的意義について

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

〔研究の目的〕

先天性心疾患患者の中で経年的に大動脈が拡張してくる患者がいます。程度が進行すれば大血管の拡張病変は血行動態的には心不全を助長させ、解剖学的には大動脈瘤や解離、瘤破裂など致死的事となる場合があります。しかしながら、先天性心疾患患者において大動脈拡張の機序や大動脈拡張が心収縮能や拡張能など臨床症状にどのように影響を及ぼすかは明確になっていません。本研究では先天性心疾患の中でも単心室形態の Fontan 術後患者における上行大動脈拡張の機序や臨床的意義について検討する事によって今後の患者の管理、治療方針に役立てます。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2012 年 1 月から 2015 年 12 月に単心室形態でフォンタン手術を行った患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、身体所見、検査結果（血液検査、心エコー検査、心臓カテーテル検査、CT 検査、血管内皮検査、血管硬度検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朝貝 省史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 12 月 5 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児における腎移植後 FSGS 再発リスクの検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓小児科

[研究責任者] 服部元史 東京女子医科大学腎臓小児科 教授

[研究の目的]

どのような方が腎移植後に FSGS 再発の可能性が高いか検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1987 年から 2015 年の 29 年間に当科で腎移植を施行した FSGS の患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、病歴、検査結果（血液検査、尿検査、レントゲン検査、エコー検査、病理検査）、治療内容。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 服部元史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3359-4877

平成 28 年 2 月 17 日

外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 癌性疼痛によるオピオイド使用患者の周術期管理に関する後ろ向き検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院麻酔科

〔研究責任者〕 尾崎 眞 東京女子医科大学麻酔科学教室 教授・講座主任

〔研究の目的〕

癌性疼痛の方の術中から術後にかけての痛みの経過について調べるため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

麻薬性鎮痛薬を使用している患者さんで、平成 26 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に外科的治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、術前合併症、原疾患、病歴、手術部位、手術方法、麻酔方法、麻酔薬使用量、術後鎮痛法、術後鎮痛に使用した薬剤名および薬剤量、術後鎮痛状況、手術に際しての合併症、検査結果（血液検査、画像検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 藤田 貴子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7336

平成 28 年 2 月 15 日

消化器病センター(消化器内科・外科)に通院中の(または過去に通院・
入院されたことのある)患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「造影エコーによる肝細胞癌の早期血流動態の検討」

【研究機関】 東京女子医科大学消化器病センター(消化器内科、消化器外科)

【研究責任者】 山本 雅一 東京女子医科大学 消化器外科 教授

【研究の目的】

侵襲の少ない造影エコーで肝細胞癌の詳しい血流の変化をみることにより、肝癌の診断がどの程度正確にできるかを検討する。なお、造影エコーは現在保険が適応され、広く一般に普及している安全な検査である。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肝細胞癌または肝腫瘍の患者さんで、2007 年から 2014 年の間に東京女子医科大学消化器病センター(消化器外科または内科)で造影エコーの検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、血液生化学検査結果(肝炎ウィルス関連、総ビリルビン、アルブミン、AST、ALT、γ-GTP、白血球、血小板数、プロトロンビン時間、ヘパプラスチン値、ICG15 分値、Child-Pugh 分類、AFP、AFP-L3、PIVKA-II)、手術および腫瘍生検所見(手術日、手術所見、生検施行日、生検所見)、病理組織所見(腫瘍個数、腫瘍存在部位、腫瘍径、異型度、門脈侵襲、静脈侵襲、胆管侵襲、肝内転移、非癌部肝病理組織、進行度分類、亜型分類)、画像診断結果(超音波検査所見、CT 検査所、MRI 検査所見)など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 斎藤明子

電話 03-3353-8111（内線 25214） FAX 03-5269-7435

平成 28 年 2 月 2 日

血液浄化療法科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「Vascular Access 再循環率測定に関する問題点と有用性の検討」

[研究機関] 東京女子医科大学 血液浄化療法科

[研究責任者] 東京女子医科大学 血液浄化療法科 教授 秋葉隆

[研究の目的]

BV 計によるバスキュラーアクセス (VA) 再循環率の測定精度等を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

慢性維持透析患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 28 年 2 月 1 日の間に血液浄化療法の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

①上腕動脈血流量

②HD02 による VA 再循環率

③BV 計による VA 再循環率

④患者情報（年齢、性別、診断名、治療条件、VA 種類、VA 作成時期、VA トラブル歴、臨床検査結果、画像診断結果）

⑤透析治療条件

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液浄化療法科 担当医師 秋葉隆

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7368

平成 28 年 1 月 15 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ABO血液型不適合腎移植におけるMVI(microvascular inflammation)の移植腎に対する影響

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

腎移植において拒絶反応は移植腎の予後の重要な因子である。拒絶反応の一つに抗体関連型拒絶反応があり、その診断基準は腎生検の病理結果により決定される。病理所見は Banff 分類にて定義され、その中に糸球体炎、または傍尿細管毛細血管炎といわれる病変を定義する項目がある。この二つの項目より定義されるものが MVI(microvascular inflammation)であり、抗体関連型拒絶反応の診断基準の一つとされている。また、他の抗体関連型拒絶反応の診断基準に腎臓内の C4d 領域といわれる場所の染色の有無が挙げられる。しかし、この C4d の染色の有無は ABO 血液型不適合移植において大部分が染まる結果となる。そのため、ABO 不適合腎移植では抗体関連型拒絶反応の診断基準が曖昧となっているのが現状である。そこで今回、ABO 不適合腎移植において、MVI の移植腎に対する影響を検討する。それはつまり、ABO 不適合移植における抗体関連型拒絶反応の診断基準において、C4d 領域の染色の有無にかかわらず、MVI が重要であることを証明することとなる。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2001 年 1 月 1 日から 2015 年 1 月 1 日の間に ABO 不適合腎移植を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

腎移植時のレシピエントの年齢・性別、透析導入から移植までの期間、慢性腎不全の原因疾患、レシピエントの血液型、ドナーの血液型、移植時の導入免疫抑制剤の種類、移植前後の ABO 血液型抗体価、観察期間、移植後一年以内の腎生検の回数、腎生検の病理所見(MVI の有無、C4d 領域の染色の有無、その他 Banff 分類に基づく因子)、移植後一年以内の T 細胞性拒絶反応の有無、移植後 1 か月、3 か月、1 年、2 年、3 年、4 年、5 年、6 年、7 年、8 年、9 年、10 年の腎機能(eGFR)、移植後の腎機能の予後(生着して

いるか透析再導入となったか)、など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

平成 28 年 2 月 25 日

糖尿病代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] SAP(Sensor augmented pump)療法による血糖変動の変化の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 糖尿病代謝内科

[研究責任者] 内潟 安子 （糖尿病代謝内科 教授・講座主任）

[研究の目的]

SAP 療法による血糖変動の変化を調査する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1 型糖尿病の患者さんで、平成 27 年 1 月 1 日から平成 28 年 1 月 31 日の間に SAP 療法を開始された方

●利用するカルテ情報

検体：血液・尿（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、糖尿病合併症の重症度（網膜症・腎症）、検査結果（血液、尿）、SAP 療法結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科 担当医師 保科早里

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 1 月 27 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたこと
のある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 日本人強皮症患者の臨床的特徴の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院リウマチ科

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

【研究責任者】 東京女子医科大学リウマチ科 臨床教授 川口 鎮司

【研究の目的】

日本人強皮症患者の臨床的特徴を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

全身性強皮症の患者さんで、1986 年 4 月 1 日から 2016 年 2 月 29 日の間に、東京女子医科大学病院リウマチ科または、東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターに通院もしくは入院歴のある方。

●利用するカルテ情報

患者基本情報（年令、性別、診断名、発症年齢、罹病期間、治療内容、合併症）、身体所見、自覚症状、生理機能検査所見、内視鏡検査所見、画像検査所見、血液所見、尿検査所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 担当医師 岡本（栃本）明子

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 2 月 18 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 前立腺癌放射線治療の予後予測における Prostate Imaging Reporting and Data System (PI-RADS) score の有用性

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 石田英樹 泌尿器科 臨床教授

【研究の目的】

PI-RADS score が前立腺癌放射線治療の予後を予測する因子となりえるかの検討

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2007 年 3 月～2011 年 9 月の間に東京女子医科大学泌尿器科に通院し放射線治療を施行された前立腺癌の患者様が対象。

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③採血データ（血算、生化学、腫瘍マーカー、内分泌など）④病理所見（前立腺針生検時の組織型、悪性度、陽性本数など）⑤MRI 画像および読影所見⑥放射線治療の所見（放射線量など）⑦内分泌ホルモン療法（使用した注射薬や内服薬、期間など）⑧臨床経過（臨床症状や追加治療の有無）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 羽田圭佑

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 2 月 25 日

糖尿病・代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 2 型糖尿病における安静時エネルギー消費量：臨床的特徴をふまえた予測値との比較検討とその後の臨床経過に及ぼす影響

【研究機関】 東京女子医科大学病院 糖尿病・代謝内科

【研究責任者】 内潟 安子 東京女子医科大学 第 3 内科学 教授・講座主任

【研究の目的】

安静時エネルギー消費量（基礎代謝）の傾向とその予測値を比較し、入院中の検査データとの関連を調べるため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2 型糖尿病の患者さんで、平成 20 年 9 月 1 日から平成 21 年 4 月 30 日の間に入院中に安静時エネルギー消費量（基礎代謝）の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、既往歴、合併症の有無、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、体脂肪率（体組成分析）、基礎代謝（安静時エネルギー消費量）、神経検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 糖尿病・代謝内科

担当医師 井出 理沙

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 2 月 26 日

神経内科に入院されたことのあるの
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療録に保管された情報を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腎移植後に発症する脳梗塞の特徴

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経内科

[研究責任者] 東京女子医科大学神経内科 教授・講座主任 北川一夫

[研究の目的]

腎移植後患者 血液透析患者に発症する脳梗塞の特徴を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 15 年 4 月から平成 28 年 1 月の間に 急性虚血性脳卒中（脳梗塞 および 一過性脳虚血発作）で当科へ入院された患者さん

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、合併症（高血圧、脂質異常症、糖尿病 喫煙歴 飲酒歴）、身体所見（身長 体重 血圧 脈拍）検査結果（12 誘導心電図 ホルター心電図 胸部 X 線 脳 C T 検査 脳 M R I 検査 頸動脈超音波検査 心臓超音波検査）血液・尿検査、脳卒中発症前の内服薬剤 脳卒中発症後の治療内容、脳卒中発症後 3 か月 1 年 2 年 3 年後の脳心血管イベント発症の有無 日常生活自立度

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 水野 聡子

電話 03-3353-8111・(内線 39232)・・・ FAX 03-5269-7324・・・・・・

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に通院・入院されているの
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 エクルーシス®試薬エベロリムスの試薬性能評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 中央検査部 検体検査室

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

〔研究の目的〕医師から依頼された免疫抑制剤エベロリムス検査の測定後の残った検体を使って、新しく開発されたエベロリムス測定試薬を使って測定を行い、現在使用している試薬と同等の結果が出るか検討します。この研究は、ロシュ・ダイアグノスティック株式会社の受託研究として行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

免疫抑制剤エベロリムス測定後、倫理委員会承認後から平成 29 年 12 月 31 日の間に
検体の残余量のある患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（EDTA 血）

カルテ情報：エベロリムス測定結果
使用薬剤

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7469

平成 28 年 2 月 9 日

救命救急センターに過去に入院されたことのある 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 頭部外傷後痙攣発作の関連因子の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院救命救急センター

【研究責任者】 矢口有乃 救命救急センター 教授

【研究の目的】

頭部外傷後の外傷性てんかん (post traumatic epilepsy: PTE) は重症頭部外傷では約 17% に認められます。受傷後 1 週間以内の早期痙攣 (early seizures) とそれ以降の晚期痙攣 (late seizures) に分けられ、前者は急性期の二次性脳損傷の原因となり、さらには晚期痙攣との関連もあるため予防が重要とされます。したがって抗痙攣薬の予防投与が行われることが多く、脳損傷が大きい重症例ほど PTE のリスクが高いことは報告されていますが、予防的な抗痙攣薬投与に関して重症度や脳損傷の程度に関する基準はありません。抗痙攣薬には副作用として肝障害や重篤な薬剤アレルギー症状などを呈するものあり、症例に応じた投与選択が重要と考えられます。頭部外傷患者の重症度や予後は入院時の意識レベルを含む臨床情報や頭部 CT などの画像検査結果と関連するとされ、それらと痙攣発作と関係を調査して早期痙攣に関連する因子を同定して、将来の予防的抗痙攣薬使用基準の作成を目指すのが今回の研究の目的であります。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

頭部外傷（疾患名）の患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に救命救急センターに入院となった方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、現病歴、身体所見：意識レベル（JCS、GCS）、神経学的所見（脳神経所見、錐体路徴候、小脳徴候）、損傷部位と状態、体温、血液検査結果（血算、一般生化、凝固系、CRP、PCT、FDP、D-dimer、TAT、AT-III）、尿一般、尿培養、尿量、喀痰培養、血液培養、画像検査所見（CT、MRI、Xp）、入院中の使用薬剤、痙攣発作の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報 は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院救命救急センター 担当医師 米山 琢

電話 03-3353-8111 FAX 03- 5269-7335

平成 28 年 3 月 1 日

神経内科、循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 直接（新規）経口抗凝固薬の効果確認方法に関する多施設共同研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院神経内科、循環器内科

【研究責任者】 東京女子医科大学 医学部 神経内科学 教授・講座主任 北川一夫

【研究の目的】

直接経口抗凝固薬（リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバン）の効果を評価する方法は確立されていないため、血液凝固に関連した検査をさまざまな施設と共同して検討することにより、効き目を確認するのに適する検査方法を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

直接経口抗凝固薬を服薬中の心房細動の患者さんで、平成 25 年 7 月 16 日から平成 28 年 2 月 16 日の間に「経口トロンビン阻害薬と経口第 Xa 因子阻害薬のモニタリングに関する検討」の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、嗜好（飲酒歴）、疾患名（現疾患と既往疾患）、手術名、治療内容、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓超音波検査、心プールシンチグラフィ、左室造影検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科

担当医師 北川一夫、山崎昌子

電話 03-3353-8111 (内線 39232)

FAX 03-5269-7324

平成 28 年 2 月 29 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心房中隔欠損症における欠損孔閉鎖後の右室サイズの変化についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 川島 眞 中央検査部運営部長

【研究の目的】 右室拡大を残存させないための心房中隔欠損症治療の至適時期を明らかにすること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

心房中隔欠損症の患者さんで、平成 18 年 1 月 5 日から平成 27 年 12 月 29 日の間に心エコー検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心エコー検査、心臓カテーテル検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 心臓超音波室

担当 神田 かおり

電話 03-3353-8111 内線 29214

平成 28 年 2 月 1 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

—臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い—

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 進行胆嚢癌切除例における予後不良の因子の検討

—多施設後ろ向き観察研究—

〔研究機関〕 聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科、慶應義塾大学 一般・消化器外科、横浜市立大学 消化器・腫瘍外科、東京医科歯科 肝胆膵外科、東京女子医科大学病院 消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 東京女子医科大学 消化器外科 教授（講座主任）

〔研究の目的〕

切除可能胆嚢癌における予後不良の危険因子の検討を行う

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日までに東京女子医科大学病院 消化器外科に通院または入院した胆嚢癌（非切除を含む）の治療を受けられた方

●利用するカルテ情報

背景データ

年齢、性別、術前黄疸、胆道ドレナージ、手術日（診断日）、退院日、切除有無、非切除症例における切除不能因子、非切除例化学療法内容、腫瘍マーカー、身体所見、手術所見（切除例）、術前治療、術式、出血量、輸血量、手術時間、病理（切除例のみ）、最大腫瘍径、組織型、郭清リンパ節数、転移リンパ節数、癌遺残度、癌進行度、術後合併症、術後在院日数、再発有無、再発発見日、再発部位、転帰、最終転帰確認日、生存期間（月）、術後補助療法

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7435

平成 28 年 2 月 19 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 小児膜性腎症における PLA2R の関与について

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院腎臓小児科

〔研究責任者〕 服部元史 東京女子医科大学腎臓小児科 教授

〔研究の目的〕 膜性腎症は 2009 年に原因抗原として Phospholipase A2 Receptor (PLA2R) が発見されました。これを契機に成人領域では病態解明が進み成人の膜性腎症患者の 70% において PLA2R に対する自己抗体が検出されることが明らかとなっています。

一方、小児においては膜性腎症症例が少なく十分な検討はなされていません。これまでの報告は米国より 20 人の小児膜性腎症患者の腎生検検体を用いて PLA2R の染色を検討した報告が 1 報あるのみです。

日本における小児膜性腎症において PLA2R が発症に関わっているかどうか、その病態メカニズムを明らかにするために、これまでに当院で膜性腎症と診断された患者さんの腎生検保存検体を用いて PLA2R の関与を調べることを本研究の目的といたします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1983 年から 2014 年までの 30 年間に東京女子医科大学腎臓小児科で腎生検を受けられ、膜性腎症と診断された患者さん

●利用するカルテ情報および検体

- ① 患者基本情報：年齢、性別、生年月日、出生歴、家族歴、既往歴
- ② 疾患情報：疾患名、手術歴、治療内容
- ③ 血液検査結果：肝機能、腎機能、電解質、尿一般
- ④ 画像検査所見：CT、MRI、超音波検査
- ⑤ 病理検査：腎生検（これまでに施行した腎生検検体の残余分を用いて PLA2R に対する抗体によって免疫染色法を施行します。）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報を利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報および検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 服部元史

電話 03-3353-8111 (代表) FAX 03-3359-4877

平成 28 年 1 月 18 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 高精度体成分分析(In Body720)を用いた炎症性腸疾患患者の栄養評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第二外科

〔研究責任者〕 岡本 高宏 （第二外科 講座主任）

〔研究の目的〕 体成分分析検査を用いて骨格筋量を測定し栄養状態を評価する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

潰瘍性大腸炎またはクローン病の患者さんで、平成 23 年 10 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に体成分分析測定検査を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、嗜好歴（飲酒・喫煙）
- ②疾患情報：疾患名、発症時年齢、病型、手術時年齢、手術適応、術式、手術時間、出血量、術後合併症、術後在院日数、術前治療内容、術後治療内容
- ③血液検査結果：タンパク質、アルブミン、血算
- ④画像検査所見：CT 検査
- ⑤生理検査所見：体成分分析検査（In Body720 使用）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科

担当医師 板橋 道朗 ・ 中尾 紗由美

電話 03-3353-8111

FAX 03-5269-7334

平成 28 年 2 月 1 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肢帯型筋ジストロフィーの臨床病型と画像所見に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院 小児科

[研究責任者] 永田 智 小児科学教室 講座・主任 教授

[研究の目的] 肢帯型筋ジストロフィーの早期診断ツールを作成することを本研究の目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 27 年 12 月 31 日までに肢帯型筋ジストロフィーと臨床的に診断をされている患者さんで、原因蛋白が判明している患者さん。（デュシェンヌ型筋ジストロフィー、ベッカー型筋ジストロフィー、顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー、筋強直性ジストロフィー、福山型先天性筋ジストロフィーは除く。）

●利用するカルテ情報

対象患者について、以下の項目の調査をおこなう。

- ①被験者背景：年齢、性別、患者の臨床ステージ（上田分類、Brooke 分類）
- ②画像診断：骨格筋 CT または骨格筋 MRI（いずれも診療上で既に得られた情報のみ）
- ③臨床検査：血清 CK 値、呼吸機能検査、心機能、脊柱変形の有無
- ④病理学的検査（組織診・細胞診）：筋生検の原因蛋白にそった診断名

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 村上 てるみ

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7338

平成 28 年 3 月 10 日

糖尿病代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

・臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い・

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 1型糖尿病患者における発症年代毎の網膜症の発症と進展に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 糖尿病代謝内科

【研究責任者】 内潟 安子 （糖尿病代謝内科 教授）

【研究の目的】

30歳未満発症の1型糖尿病患者における発症年代毎の網膜症の発症と進展に関する検討を行う。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

30歳以下で1952年1月から2010年12月までの間に1型糖尿病と診断され、1960年1月から2015年10月までの間に東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科に通院された方。

●利用するカルテ情報

検体：血液（HbA1c）、尿（尿中アルブミン）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、喫煙歴、合併症、疾患名、糖尿病治療内容、糖尿病罹病期間、初診時の治療内容、糖尿病合併症の重症度（網膜症・腎症）、高圧利尿薬内服の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科 担当医師 村尾 愛または三浦順之助

電話 03-3353-8111(代表) FAX 03-3358-1941

平成 27 年 7 月 10 日

第一外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎癌術後、肺転移、胸壁転移、胸腔内転移における外科的治療の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院第一外科

【研究責任者】 大貫恭正 東京女子医科大学 第一外科学（教授）

【研究の目的】

腎癌術後の肺転移、胸壁転移、胸腔内転移に対して、外科的治療を施行した症例についての検討を目的とした研究

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎癌術後に、肺転移、胸壁転移、胸腔内転移と診断された患者さんで、平成 13 年 1 月 1 日から平成 28 年 1 月 31 日の間に外科的治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①性別 年齢
- ②最終病理組織診断
- ③画像上の腫瘍最大径 (cm)
- ④画像所見(CT PET)
- ⑤悪性腫瘍の既往
- ⑥悪性腫瘍の疾患名
- ⑦術前の Performance Status
- ⑧腫瘍に対する術前の治療の有無
- ⑨術前治療ありの症例で化学療法の有無
- ⑩初回の腎癌術式、病理組織
- ⑪術前化学療法、インターフェロン治療の内容
- ⑫術後の化学療法、インターフェロン治療の内容
- ⑬術前化学療法、インターフェロン治療のコース数
- ⑭術後の化学療法、インターフェロン治療のコース数
- ⑮再発期間
- ⑯手術時の年齢
- ⑰手術日（西暦 年 月 日）： 例 2001/1/15

- ⑮手術アプローチ
- ⑯胸腔内手術術式
- ⑰切除個数
- ⑱手術中出血
- ㉑手術時間
- ㉒輸血の有無
- ㉓血漿分画製剤の使用の有無
- ㉔止血剤の使用の有無
- ㉕ドレーン留置期間
- ㉖入院期間
- ㉗ 胸膜播種の有無
- ㉘ 遠隔転移の有無
- ㉙ 切除標本での腫瘍最大径 (cm)
- ㉚ 遺残腫瘍の有無
- ㉛ 術後合併症
- ㉜ 術後合併症の内容
- ㉝ 再発の有無
- ㉞ 再発確認年月日 (西暦年/月/日)
- ㉟ 再発部位
- ㊱ 再発巣の切除
- ㊲ 最終生存確認日 (西暦年/月/日)
- ㊳ 転機
- ㊴ 生存症例の状況
- ㊵ 死亡症例の死因
- ㊶ 他病死の内容
- ㊷血液検査所見 (WBC Hb Ht PLt Alb LD BUN Cr CRP)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第一外科 担当医師 井坂珠子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成 28 年 1 月 22 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 左室壁厚と心筋重量から分類した左室肥大の心電図学的特徴

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 中央検査部

〔研究責任者〕 中央検査部 運営部長 川島 眞

〔研究の目的〕

左室肥大は左心室が肥大または拡大している状態を言います。本研究では左室肥大のパターンを細かく分類し、それぞれの心電図学的特徴を調べることにより、左室肥大に対する心電図検査の精度の向上を目指します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2015 年 3 月～4 月に東京女子医科大学病院に通院または入院して心電図検査と心臓超音波検査を行った方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見、診断名、検査結果（心電図検査、心臓超音波検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部心電図室

担当技師 山田辰一

電話 03-3353-8111 内線 23158

平成 28 年 2 月 20 日

産婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 子宮体部原発神経内分泌腫瘍に対する治療法・予後についての後方視的研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター産婦人科

〔研究責任者〕 東医療センター産婦人科 教授・高木 耕一郎

〔研究の目的〕 難治性でかつまれな疾患である子宮体部原発神経内分泌腫瘍についての効果的な治療法を検討するための基礎として、本邦における当該腫瘍患者の治療実績や予後に関して多施設から症例を集積すること

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1995 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日までの 20 年間に、組織学的に子宮体部原発神経内分泌腫瘍と診断された患者さん

●利用するカルテ情報、検体

生年月日、手術日、身長・体重・および合併症、病理診断、進行期、手術術式、術後補助療法の種類、有害事象、術後補助療法を完遂できたかどうか、再発の有無、再発確認日、初回再発部位、最終患者診察日、および診療時に採取・保管された病理検体

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報、検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター産婦人科

担当医師 長野浩明

電話 03-3810-1111 FAX 03-38004786

平成 28 年 2 月 10 日

精神科に通院中（または過去に通院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 月経前不快気分障害（PMDD）患者におけるQOLと治療コストの検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター精神科

〔研究責任者〕 山田和男、東京女子医科大学東医療センター精神科、教授

〔研究の目的〕

月経前不快気分障害患者さんの生活の質（QOL）の低下の程度や、治療のコストに関する調査を行う。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

月経前不快気分障害の患者さんで、平成 25 年 10 月 1 日から平成 28 年 2 月 1 日の間に治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、診断名、患者さんに関する基本的な情報（これまでの治療や就労状況などについて）、月経周期と月経前不快気分障害の症状の出現時期（期間）、治療内容（使用した薬・検査、処置、通院日）、治療の効果、診察前に記入した検査用紙（EQ-5DとCES-D）の結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター精神科

担当医師 山田和男

電話 03-3810-1111（内線 3451） FAX 03-3810-1156

平成 28 年 2 月 24 日

第一外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肺内非悪性疾患の術前 FDG-PET/CT 検査の後方視的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院第一外科

[研究責任者] 大貫恭正 東京女子医科大学 第一外科学（教授）

[研究の目的]

FDG-PET/CT は胸部腫瘍性疾患の良悪性の鑑別に有用ですが、糖代謝を利用した検査法であるために非悪性疾患でも FDG 集積を認め、偽陽性を呈することがあります。非悪性疾患における FDG-PET/CT 所見にどのような傾向があるかを後方視的に検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院にて 2010 年 1 月から 2015 年 3 月までに術前に FDG-PET/CT を施行し、肺切除後に非悪性疾患と診断を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①性別、年齢、身体所見
- ②最終病理組織診断
- ③画像所見(CT PET XP)
- ④既往歴
- ⑤術前の Performance Status
- ⑥手術時の年齢
- ⑦手術日（西暦 年 月 日）： 例 2001/1/15
- ⑧手術アプローチ
- ⑨手術術式
- ⑩手術中出血
- ⑪手術時間
- ⑫輸血の有無
- ⑬入院期間
- ⑭術後合併症
- ⑮術後合併症の内容

⑯血液検査所見 WBC Hb HT PLT AST ALT LDH Cr BUN CRP KL6 SPD SPA β D-グル
カン 腫瘍マーカー

⑰術後経過（治療内容）

⑱術前治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第一外科 担当医師 井坂珠子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成28年2月17日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膠原病合併肺癌手術症例の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院呼吸器外科

【研究責任者】 大貫 恭正 呼吸器外科 教授

【研究の目的】

膠原病と悪性腫瘍の発生に関連があることはよく知られており、いくつかの疾患においては、肺癌の罹患率が高いことが報告されています。膠原病患者さんは、高率に間質性肺炎(IP)を合併することが知られおり、治療のために免疫抑制剤を使用している方が多くいらっしゃいます。膠原病に合併する間質性肺炎(CVD-IP)は特発性間質性肺炎に比べ、予後は良好と報告されていますが、CVD-IPが肺癌の予後にどの程度影響を与えるかは不明であり、さらに術後の急性増悪の発生率は明らかになっていません。また、免疫抑制剤の使用は術後肺瘻の遷延や、気管支断端瘻のリスクを高めるため、膠原病をお持ちの患者さんは肺癌手術を行う際に、ハイリスク患者であると推測されます。しかし、膠原病の患者さんにおける肺癌手術成績について検討した報告はほとんどありません。そこで今回、膠原病患者における周術期成績と長期予後、予後因子について調査します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当科に入院歴がある患者さんで、膠原病の既往があり、平成12年1月1日から平成26年12月31日の間に肺癌手術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、検査結果（血液学的検査、呼吸機能検査、画像検査）、手術記録、病理診断

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科

電話 03-3353-8111 (内線 31125)

担当医師 前田 英之

FAX 03-5269-7333

平成 28 年 3 月 17 日

東京女子医科大学病院心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院され
たことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 15 歳以下の孤立性僧帽弁疾患における僧帽弁手術の遠隔成績

【研究機関】 東京女子医科大学病院心臓血管外科

【研究責任者】 山崎健二 心臓血管外科 教授・講座主任

【研究の目的】 僧帽弁に対する長期の手術による治療効果を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

僧帽弁閉鎖不全症または僧帽弁狭窄症の患者さんで、1983 年 1 月から 2009 年 12 月の間に僧帽弁形成術または僧帽弁置換術を受けた方のうち、手術を受けた時点で 15 歳以下の方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、エコー検査、診療記録、手術記録など）。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 久米悠太

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 3 月 22 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 再発・難治悪性リンパ腫がん化学療法に対するペグフィルグラスチム適正使用に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 薬剤部

【研究責任者】 薬剤部 薬剤部長 木村利美

【研究の目的】

ペグフィルグラスチムの使用患者背景、無顆粒球症の発症、及び FN を含めた感染合併症に関する後方視的調査を行い、ペグフィルグラスチムの使用により効果不十分であった患者の背景因子を解析する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

悪性リンパ腫の患者さんで、平成 27 年 2 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に再発・難治がん化学療法に対するフィルグラスチムまたはペグフィルグラスチムを受けた方

●利用するカルテ情報

【患者背景】

- ①年齢
- ②性別
- ③体重、体表面積
- ④全身状態：Eastern Cooperative Oncology Group Performance Status(ECOG PS)
- ⑤診断名：病型・病期

【利用するカルテ情報】

- ①抗がん剤投与歴：がん化学療法レジメン名称・レジメン数
- ②ペグフィルグラスチムの使用状況：開始日・投与量・投与回数
- ③抗菌薬投与歴
- ④血液検査：血算(白血球数、成熟好中球数、ヘモグロビン濃度、血小板数)
- ⑤生化学検査：C 反応性蛋白、乳酸脱水素酵素、アルブミン、腎機能(血清クレアチニン・eGFR)、肝機能(総ビリルビン・アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ・アラニンアミノトランスフェラーゼ)
- ⑥イベント：無顆粒球症の発症、発熱性好中球減少症の発症、感染症の発症

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 薬剤部 友松拓哉

電話 03-3353-8111

平成 28 年 2 月 1 日

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科に過去に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 常位胎盤早期剥離の既往のある妊婦の妊娠管理方法と周産期予後に関する後方視的検討

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科

【研究責任者】 正岡直樹 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授

【研究の目的】

常位胎盤早期剥離既往症例の予後と背景因子の解析を後方視的に検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 18 年 12 月から平成 27 年 12 月に入院、分娩された患者さんで、常位胎盤早期剥離の既往を認めなかった方。

●利用するカルテ情報

母体情報、児情報、入院後経過、合併症、血液・生化学・尿検査結果、画像検査結果、治療内容、予後、退院後経過

●研究の方法

同時期に入院、分娩された常位胎盤早期剥離の既往のある患者さんのグループと、上記の治療内容や予後などのカルテ情報を比較します。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合でも、利用する情報からは患者さん本人が特定できないため、カルテ情報を利用することをご了解いただけない旨の申し出は受けられません。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 4 7 7-9 6

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 担当医師 中島義之
電話 047-450-6000 (代表)

平成 28 年 2 月 1 日

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科に過去に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 切迫早産および前期破水 (preterm PROM) 症例の治療に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科

【研究責任者】 正岡直樹 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授

【研究の目的】

現在行われている切迫早産および前期破水 (preterm PROM) に対する治療効果を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 18 年 12 月から平成 27 年 12 月 31 日の間に入院治療を受けた、切迫早産および前期破水 (preterm PROM) の妊婦さんとその出生児

●利用するカルテ情報

母体情報、児情報、入院後経過、合併症、血液・生化学・尿検査結果、画像検査結果、治療内容、予後、退院後経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合でも、利用する情報からは患者さん本人が特定できないため、カルテ情報を利用することをご了解いただけない旨の申し出は受けられません。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 4 7 7-9 6

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 担当医師 中島義之

電話 047-450-6000 (代表)

平成 28 年 2 月 1 日

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科に過去に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 妊娠糖尿病(GDM)スクリーニング 50gGCT 値と周産期予後に関する後方視的検討

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科

【研究責任者】 正岡直樹 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授

【研究の目的】

妊娠中期 50gGCT 値と周産期予後の関係を明らかにする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 18 年 12 月から平成 27 年 12 月に 50g グルコースチャレンジテストを受けたことのある患者さん

●利用するカルテ情報

母体情報、児情報、入院後経過、合併症、血液・生化学・尿検査結果、画像検査結果、治療内容、予後、退院後経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合でも、利用する情報からは患者さん本人が特定できないため、カルテ情報を利用することをご了解いただけない旨の申し出は受けられません。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 4 7 7-9 6

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 担当医師 中島義之

電話 047-450-6000 (代表)

平成 28 年 2 月 1 日

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科に過去に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 母体 BMI と周産期予後に関する後方視的検討

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科

[研究責任者] 正岡直樹 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授

[研究の目的]

妊娠前および分娩前の母体の体格と周産期予後との関係を後方視的に検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 18 年 12 月から平成 27 年 12 月の間に当院で入院、分娩された妊産婦およびその出生児

●利用するカルテ情報

母体情報、児情報、入院後経過、合併症、血液・生化学・尿検査結果、画像検査結果、治療内容、予後、退院後経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合でも、利用する情報からは患者さん本人が特定できないため、カルテ情報を利用することをご了解いただけない旨の申し出は受けられません。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 4 7 7-9 6

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 担当医師 中島義之

電話 047-450-6000 (代表)

平成 28 年 2 月 23 日

東京女子医科大学東医療センター小児科に通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 Small-for-gestational age (SGA) 性低身長における Growth Hormone (GH) 治療の体格および脂質代謝データの変化に及ぼす影響の検討

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター小児科

【研究責任者】 東京女子医科大学東医療センター小児科 教授 杉原茂孝

【研究の目的】

成長ホルモン治療中の SGA 児の身長、体重等から算出される体格指数 (BMI, 肥満度等) の縦断的データ解析を、成長ホルモン分泌不全性低身長 (GHD) 児と比較することで行う。これに生化学、ホルモン等の血液データを追加することで、GH 治療が耐糖能、脂質代謝に及ぼす影響についても体格指数ごとに解析が可能となる。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2009年4月から2016年3月までの間に東京女子医科大学東医療センター小児科に通院または入院したSGA患者およびGHD患者。

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、BMI、肥満度
- ②血液検査 (HbA1c, T.CHO, LDL-C, HDL-C, IGF-1, レプチン)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター小児科 担当医師 松岡尚史

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-1327

平成 28 年 3 月 23 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の

患者さんまたはご家族の方へ

・臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い・

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 2 次予防投与におけるペグフィルグラスチムの有効性の評価

【研究機関】 東京女子医科大学病院

【研究責任者】 木村利美（薬剤部 薬剤部長）

【研究の目的】 ペグフィルグラスチムの予防投与の有効性を評価するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015 年 2 月 1 日～2016 年 1 月 31 日までの間に東京女子医科大学病院においてがん化学療法治療後にジーラスタ®を投与された患者さん(ペグフィルグラスチム投与群)および、2014 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日までの間に東京女子医科大学病院においてペグフィルグラスチム投与群にて投与されたレジメンを施行した患者さん。

●利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、がん種、診療科、使用レジメン、performance status、病理組織、病期、体重、体表面積、放射線併用有無、ペグフィルグラスチム投与歴(入院/外来)、ペグフィルグラスチム投与目的、ペグフィルグラスチム投与時刻、抗がん剤投与終了時刻、抗がん剤投与量、抗がん剤投与延期の有無、抗菌薬投与有無、発熱性好中球減少症の発症有無、入院日数

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院

担当薬剤師 深谷寛

電話 03-3358-8111

平成 28 年 3 月 22 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「血液疾患入院患者に合併した菌血症の臨床的、細菌学的検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院 血液内科

[研究責任者] 田中淳司 血液内科学 教授・講座主任

[研究の目的]

血液疾患の患者さんは抵抗力が落ち、健康な人にはあまり病気をおこさない様々な菌で感染を起こすことがあります。そこで、血液から菌が検出された入院患者さんについて詳細に検討を行い、年代や治療法の変化に伴う菌の種類の推移を明らかにして、抗菌薬選択等の治療法決定に役立つ情報を得ることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

血液内科に 2010 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に入院された患者さんで、
血液検査で菌が検出された患者さん

●利用するカルテ情報

入退院日時、診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、細菌培養検査）、
治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科

担当医師 志関雅幸

電話 03-3353-8111（内線 31544）

FAX 03-5269-7329

平成28年2月3日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 鏡視下腎部分切除術における術後腎機能低下と腎実質体積減少の関係
(傾向スコアを用いた比較検討)

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 石田英樹 泌尿器科 教授

【研究の目的】

鏡視下腎部分切除術における術後腎機能低下をロボット補助下手術と腹腔鏡下手術で比較するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2010年4月から2015年12月に東京女子医科大学泌尿器科で施行した鏡視下腎部分切除術270例が対象

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③手術所見(術式、出血量など)④病理所見(組織型、病期など)⑤CT画像所見
⑥採血データ(血算、生化学、凝固系など)⑦臨床経過(臨床症状、追加治療の有無)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 橘秀和

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293